

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスわかば七道		
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 20日 ～ 令和6年 10月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日 ～ 令和6年 10月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 10月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同じ世代の友達との遊びを通じて協調性や思いやりを学ぶことができる	時間制限や順番制を取っている	sstの種類を増やしいろいろな状況に合わせられるようにしたい
2	自分でできることを増やすを基本とし、やる気にさせる、何度失敗しても繰り返し挑戦することなど行い達成感をえることを覚えられる	SSTを通じて協調性を学んでもらっている	学校での様子も加味し支援の充実を図るため学校とのコミュニケーションを密にとる
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	従業員中心の発言、立案を増やし積極性を増やしたい	トップダウンの支援から平たくフラットな関係性への変更	研修やミーティングを増やしスキルアップを図り従業員の自信を持つことにより積極性を増やす
2	送迎が多く、子供を見る時間が限られる場合が多いのでもう少しスタッフが子供を見る時間を十分に確保したい	送迎時間をいかにすくなくするか	今まで以上の従業員を増やし、子供たちを見る時間を増やす努力をする
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 年月日 令和6年10月31日						利用児童数 年月日 令和6年10月31日		回収数	20
放課後等デイサービスわかば七道											
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20				見学に行かせて頂いた時に、子ども達が楽しく遊べる環境が整っていました。	集団支援時と個別支援時とも子ども達が過ごしやすい環境を整え提供していきます。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			5	他の事業所と比べて多いと感じました。	今後も安心してもらえる体制を整えていきます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	8		1	家庭の生活に近い環境で子供も安心して通わせる雰囲気でした。	自宅に近い環境を目指して子ども達が安心して通所できる施設にしていきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	13	6		1	きれいに片付けられています。玩具や本などが設置されていました。	環境整備は子ども達がいつ戻ってきててもいいように整えていきます。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1		1	個別でサポートしてくれるので嬉しいのです。	子ども達の特性と性格をスタッフ全員が把握し、職員間で話し合いを行います。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	7		3	曜日ごとのプログラムと支援内容は一致していました。	新しいことへの挑戦をしてもらいたいで、今後は新しいプログラムも増やしていきます。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	7		3	支援計画の説明と取り組みも分かりやすいです。	保護者様と今後も良好な関係を作りをしていきます。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	7		3					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			5	特性を良く組み取り関わってくれていました。	職員全員でのミーティングを重ねていきます。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	7		1	お出かけの企画が多く子供も喜んでいました。	長時間の活動時は環境を変えた取り組みも近藤も継続していきます。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3		12					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	3		2					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	3		2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		2	18		研修会や情報提供の場はなかったです。	保護者様のご都合を確認し、提供場を検討していきます。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	3		2	職員の方にはいつも今日の様子を報告してくれます。	保護者様と今後も良好な関係を作りをしていきます。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	2							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	12		1	してくれる職員もいれば、してくれない職員もいる。	職員間で調和が取れるコミュニケーションを図っていきます。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	18		兄弟でも参加できるイベントがあればいいです。	今後検討していきます。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	3		2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	4		1	緊急時はすぐに対応してくれるので助かってます。	連絡等は今後も迅速に対応していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2			SNSは常に更新しているので楽しみしています。	SNSを通して保護者の方に子ども達の様子を今後もお伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	5				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	2		16	訓練をしているのは知っているが、マニュアルがあるかは分からない。	マニュアルに関しては今後周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	12				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	6		10		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	3		15		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	2			楽しみにしています。色々なイベントを考えてもらえて喜んでいます。	今後も楽しんでもらえる環境作りを行います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	3		2	通所してからは安心して過ごさせています。	今後も満足してもらえる支援を提供できるように努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		わかば七道		公表日 令和 6 年 10 月 31 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	1	二階建なため一階にスタッフが集中してしまわないように声掛けをし分散している	送迎時対応のためもう少し人員を確保したい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		バリアフリーではないが、安全に配慮し手すりを増やしたりゲートをつけたりしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		始業時、終業時にスタッフ全員で清掃を行っており衛生面では気を付けている	元あったところ日本やおもちゃを治さないため物が散乱しがちだが、空いた時間で整理整頓にも時間をさいていきたい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	小さめの部屋を個室とし、クールダウンや宿題に集中したいこのために部屋を用意している	ほかの部屋で騒いでいるときに勉強部屋が騒がしく集中できない状況にあるので改善を図りたい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	4		スタッフが全員毎日出勤しているわけではないので全員に深く徹底を図りたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	6	lineや電話送迎時等かなり頻繁に保護者様とはコミュニケーションを取っている	保護者とのコミュニケーションはかなりとってはいるが、評価表なども活用していきたい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		始業前のミーティング、始業後の全体ミーティング等で業務改善につなげている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	随時行われる研修に積極的に参加するようにしている	受けた研修とタイミングがなかなか合わず受けられないこともあるが積極的に参加したい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	4		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		日々のミーティングにおいても話し合い、モニタリングや支援計画の担当者会議も含めて意見を出し合って検討している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		日々のミーティングにおいても話し合い、モニタリングや支援計画の担当者会議も含めて意見を出し合って検討している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	4		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	4	支援計画自体は作成者、現場のスタッフで検討しながら作成している	原文を見せながらの細かな説明ではなく口頭でのみのスタッフ間に共有なので今後は原案を見せながら口頭で説明しより細かな理解をスタッフにも求めたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		定期的に支援に当たるスタッフも入れ替えをし その中で新たに上がってきた支援を取り入れ	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		10	翌日の始業前ミーティングで昨日の状況を確認しあうようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		施設に帰ってきたら本日のスケジュールを自分で考えて紙に書き資格にて再確認しスケジュールに沿った生活をする	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児童発達支援管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		担当者会議はもちろんのこと日頃の電話や送迎時の添乗にてコミュニケーションを図っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	4	今は対象児童がいらないがれんけいするたいせいはとっている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	4	今は対象児童がいらないがれんけいするたいせいはとっている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	4	積極的に連絡を取り必要に応じ研修に参加したり助言をいただいている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10		サッカーを通じ地域の子供たちと触れ合っている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		10	電話連絡等により連携は行っている	協議会への参加も行っていきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		電話やline等によりこまめに連絡を取り合っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	8		積極的に情報共有をし事業所側ご家族様側双方研修に参加できる状況も作っていききたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	4	保護者様の時間に合わせて負担のかからないような対応をしています。	保護者様にご足労かけているので改善を図りたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		作成する前にアセスメントを行い、問題点や対策を立て作成しています。	全部は聞き入れない点があるのが課題の一つとなっています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		モニタリングを行いその流れで今後の計画に繋げる説明を行っています。	伝えにくい文章を作成してしまう所があります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		悩み事や相談は随時行っています。	夜間の相談の時は営業時間の問題で受けるか悩みます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		10	個別では実施しています。	大人数での交流がスケジュール等の問題でできていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		問題が発生した時は迅速な対応を取り関係性を築いています。	保護者様が就労中の時は、時間外になりがちになります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		SNS（ブログ）作成し、保護者様に発信しています。	現時点では課題はありません。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		管理者しか出入りできない箇所に保管しています。	現時点では課題はありません。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	2	保護者様との関係性を築いて対応しています。	現時点では課題はありません。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		SNSや連絡帳を使い保護者様に連絡を行っています。	確認しない保護者様に伝える手段が難しいです。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	見やすく理解できるように作成しています。	職員全員に周知できないのが課題です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		アセスメント時に必ず身体的なことも記載しています。	現時点では課題はありません。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	6	現時点では該当すること利用者はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	2	内部研修を通して職員には周知してもらっています。	内部研修に参加できない職員がいるのが課題です。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	7		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		月1回にヒヤリハットのミーティングを行っています。	参加できない職員がいるのが課題です。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		内部研修を通して職員には周知してもらっています。	内部研修に参加できない職員がいるのが課題です。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	2	やむを得ない場合のみ計画書に記載し、保護者様に説明とご理解はして頂いています。	現時点では課題はありません。